



第159号  
令和2年2月25日  
能代市教育委員会  
学校教育課

創刊  
昭和42年10月10日  
題字 元能代市教育長  
鎌田 宏

### 巻頭言



## 充実した研修を

能代第二中学校長

野村 重公

十年後、県内小・中学校の学級担任の約三分の一は、新採用者と二十代教員が務めるといわれています。これについては、能代市の学校現場も同じ状況にあるといえます。今後、ベテラン教員の退職が増加することで、若手教員、中堅教員、ミドルリーダーの育成が喫緊の課題となっています。そこで、目指す子ども像、目指す指導に向けて、不易と流行を勘案し、最適の状況で研修を推し進めていくことが必要となります。

これまで能代市教育委員会は、児童生徒の実態、学校や教員の実態、各教科の学習状況に応じて適切な研修を位置付けてきたと捉えております。初任者研修、中堅教諭研修、理科学力向上研修、プロ

グラミング教育研修、不登校・いじめ防止研修、豊島区訪問研修等は、まさしく教員にとって資質を高めることができるタイムリーな研修だったと思います。

いよいよ来年度から小学校が新学習指導要領の完全実施となり、外国語科、プログラミング教育など、新しい指導内容が増えます。

2年後には、中学校が新学習指導要領完全実施となります。今後とも能代市教育委員会が設定する研修を適切に取り入れ、教員一人一人が自己の高みを目指した研修に努めてほしいと願っています。

最後に、能代市の教員がワンチームとなり、新たな教育課題に対しても果敢に挑戦してくれることを期待しています。



### スクール ニュース

## 豊かな心を育む 「一人1ボランティア」の取組

能代第一中学校

教頭 谷内 直毅

本校では、「一人1ボランティア」に数年前から取り組んでいる。今年も「ひまわり号」「のしろ子どもまつり」「出会いのコンサート」「天空の不夜城」「官庁街落

ち葉清掃」などから、興味・関心のある活動を選択し、参加した。

毎年11月上旬に行っている「官庁街落ち葉清掃」は、昨年までは全員参加であったが、今年からは希望制とすること、日曜日から土曜日に曜日を移動することを市役所の担当者に要望し、配慮してもらったうえで参加を呼びかけた。

希望制ではあったが、全校生徒の7割以上が参加し、学級毎に市役所から警察署前までの直線道路の落ち葉清掃を行った。歩道の落ち葉のみならず、中央の植え込みの銀杏や柳の落ち葉を、竹箒で1時間少々、一生懸命掃き続けた。感想からは、街をきれいにした達成感が伝わってきた。今後も、学校の意向を伝えつつ、心豊かにする活動に取り組みしていきたい。